ＡＳＵたちばな会報

第５号（令和２年１０月発行）

囲碁について	大濵　慶和	1
蜻蛉譚	胡　千華	3
事務局より	増田　洋平	5

囲碁について

大濵慶和

送付された「会報」において原稿のお願い書面をみて即座に「退職後の生活について」投稿しようと思いました。退職後には、何か趣味を生かしたものをやってみたいと思っていました。よくよく考えると自分には何もないことがわかって愕然とした!!そこで周りの人たちや仲間に相談したり、退職した先輩の現況を聞いたりした結果。短絡的に考えて囲碁を始めることにした。

短絡的に始めることにしたにもかかわらずこれだけ苦労することになるとは考えてもいなかった。まずは囲碁を始めるための様々な情報、書物、そして何らかの講座、さらに囲碁用具等が必要であることは頭ではわかっていたが、実際はそのようにならなかった。ただテレビをみたり、本を見てルールを覚えても相手がいなければ何もならない。そこで手早くて便利なパソコンを活用して簡単に囲碁ゲームができるので、それをやってみるとやればやるほど思うようにいかなく無知さが露呈するばかりでやりきれない気持ちになった。

そこで 1 から出直しで基礎的な知識から学ぶために「はじめて囲碁をする方へ」という囲碁教室に入り、週一回、半年間、囲碁とは？　基本ルール、そして囲碁の基本の打ち方（定石）を毎回毎回、日毎回繰り返し行うことで定石の意味が分かったりする中、少しずつ生徒間同士で対局をすることが出来るようになった。実際に相手と碁を打つことで自分の思うようにならないことが分かってきた。

講義中、先生が対局中は“アタリですよ”などはいってはいけません。お互い無言ですよ。また囲碁は“趣味”ではなくて“教養”だと教えられたこと、また定石を学びながら囲碁で使う言葉、ツケノビ、ケイマ、一間トビ等、様々な言葉を学んだが、定石と共に忘れるのである。その繰り返しが続く。さらに碁は実戦を重ねるほど上手になってゆくので 3000 局に達したときに、“あなたは少し囲碁をおぼえましたね”と言われるとも言っていたことが思い出されます。

実践の重要性がわかってくると益々多くの人と対戦したくなり、どのような所でできるのか、何か方法？と考えたり話をしていると公共施設の福祉会館、コミュニティセンター等の中で様々な講座や囲碁同好会、囲碁倶楽部があってそ

こに入会すればできるとのことがわかった。

直ぐにそれぞれの場所に出かけ入会するための方法などを聞くと、複雑な仕組みになっていてなかなか難しいことが分かった。それは同好会ごとの規則で何級、何段？　の取得が必要であり、公開抽選をクリアーし何回か対局を通して入会できるとのことであった。その背景には定年退職者や高齢者が多く、その場所でかかる諸費用が安いことが挙げられ、どこも超満員であることが分かった。

そのような講座、同好会に入会するのに 1 年半位かかりましたが、ようやく入会することができ、これまでとは違って新たな気持ちで碁盤に向かうことができた。対局をこなすうちに同期生、同レベル、上級者との間で自分の力がどの位なのかがわかり、徐々にライバル意識をもち勝ちたいという気持ちが強くなると共に益々多くの対局をしたいと考えるようになった。さらに他に何処か対局できる所はないかと話しを聞くと〇〇でやっているよ。あの人に聞けばわかるよとの情報が入り、その人の紹介で別の倶楽部に入会できたりして対局数が増えることでより楽しくなってきた。

その結果、私の所属する同好会、倶楽部での中での、力（レベル）は始めた時は 17 級、今は昨年 10 月に得た 12 級です。同好会の中では 12 級もしくは 15 級が一番低い級です。したがって、常に挑戦として負けてもともとの気持ちで自由に打つことができ、後でどこが悪いのか等について教えていただけるのです。それが役に立ったり親しい間柄になり、〇〇同好会は 6 段の人がいるとか〇〇さん？等様々な話が飛びかうようになるのも楽しみの一つになっています。

現役時代には、福祉会館、コミュニティセンター等の公共施設について殆んど興味がなかったが、これだけお世話になるとは思ってもいなかったし、またこれだけ様々な講座、趣味が開講されているとは考えても見なかったが、今では囲碁等を楽しむ高齢者の社交場になっていることに感謝しています。

追伸

3 月からのコロナ感染の影響で、私の囲碁は施設が閉館のため中断になっていて暇で仕方ありません。しかし、囲碁の楽しみ、面白さが少しずつわかってきているものと思って、まだまだ“ひよっこ”であることを噛み締めて続け、5 級を目指して頑張っていきたいと思っています。

蜻蛉譚

胡　千華

遼東半島

命の水・オイッチョカブ・ピンキィをこよなく愛する28名のクルーを乗せた、重量物専用船が大連港で、レッコーアンカーしました。当港は昔、華の航路で海外雄飛の玄関口でした。寄港は、世紀を代表するプロジェクトのタンザン鉄道用の、ロコモウティブ・フレイトを海上輸送するためでした。

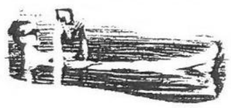
しばらくすると、ギャングウェイを登って、イミグレーション・クォランティーン・カスタムの官吏と、公司の人が来船しました。入国審査には、その国の人に喜ばれる土産品を用意しました。しかし、日中国交回復直後の共産国では、不要でした。

拳銃の密輸により、税関のブラックリストを飾った社船もありました。スエズ運河をトランジット中、船内でハシッシュを売っているエジプト人もいました。

夕食後、海員倶楽部に行き、甘い香りの桂花陳酒を頼みました。グラスを受け取るとき、小指が触れ“ハッ”とし、瞬間少年のような小さな胸が高鳴りました。姑娘の白い指は柔らかでした。カウンター越しに、羞しさ滲む瞳を見詰めながら、カタコトで言葉を交わしました。『ニホン　サンチャン　ノウキョウ　アル』と聞きビックリしました。異民族との会話は、その国の歴史や文化を深く理解した上ですることが大切だと教わりました。他にも、王昭君・呂洞賓などのことを話しました。異国情緒溢れる音楽と共に、港町の夜は更けていきました。

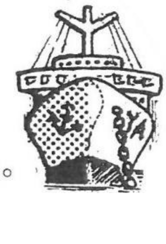
市内散策中、朱書きの革命委員会の看板が目に飛び込みました。瞬時に鳥肌が立ちました。東郷や南京事件のことが、頭をよぎったからでした。駅前の高い建物にある毛沢東の肖像画が、開放された全人民を見守っていました。

キラキラ光る鬼火のような眼をして、師走の仄暗い町を徘徊しました。カリブの海賊が享受した官能の世界、脂粉の香り・ピロートーク・71 などは、心の蜃気楼でした。夜の船橋でする、虚実皮膜の間の「艶話」が出来なくなりました。南十字星の緑色をした眼も現れなくなり、舳先の夜光虫もガッカリでした。

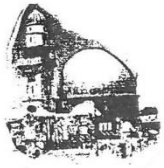


下旬に、ミトコンドリア・イブの母国に針路を取りました。約1か月の停泊でした。無線室の丸いポールドから、夜霧に霞むターリエンが見えました。ウイウイしく、純朴で妙齢な、小姐の面影が忘れられず、

『千里　姻縁　一線　牽』



と打電しました。グリーンフラッシュを期待しながら、波枕となりました。



三河野の麓

浮世の荒波にモミクチャにされ、暗夜を漂流していました。ひょんなことから、神戸で恩師に救われました。創立 3 年目で、教職員一丸となり独自の伝統づくりに一心不乱でした。若い頃の工場移転と同じでした。私は不安のみでした。

理由は、通信士免許と乗船経歴で、教員免許状を手にしたからでした。教育のイロハも知らず、潮風で電気の知識などボロボロでした。教室の前まで行くと足が竦みました。授業中、ポセイドンに助けられたり、牧羊神が現れチョークを持つ手が止まりました。そのような様子を見かねた、心ある先生方から、助言をいただきました。

・教育は、100 の知識で 1 つ教えます。
・洋生生活を送った人は、3 年間血の滲む教材研究が必要です。
・生徒が、担任の愛情を感じなければ、今後も退学者を出します。

数年後『先生のおかげで電気が嫌いになりました』と告げられて、その言葉が今でも胸に突き刺さっています。一言も申し開きが出来ませんでした。1 年次の 1 学期は、クォーク・ミューオン・特性 X 線など、ミクロの世界をもっと教えるべきでした。

不立文字の生徒に体罰を加えたため、弁護士が介入しました。その道の専門家ではないので、女神が左手で持つ天秤が、公正に振れませんでした。玉虫色の決着となりました。裁判所の判決なら、当然抗告しました。私的にも弁護士や検察官のお世話になりました。異郷から来たため、陸は茨の道でした。

アケロン川の岸辺

退職後、機械修理の手伝いをしました。高校の機械科出身なので、油の臭いや汚れが懐かしかったです。また、土建会社の手伝いもしました。野良仕事から半世紀以上遠ざかっていたので、肉体労働の辛さや壮快感が蘇りました。

現在は、小人閑居して不善をなすこともあります。

終日目的がないため、酒精に飲み込まれています。そのため脳味噌がグチャグチャです。夢かウツツか幻かのように、意識が朦朧とすることも、しばしばです。好きな白日夢は、人類のグレートジャーニーを遡る逍遥旅です。

中国風に、雲を友とし　大地を塒とし　天を屋根とし

パタゴン族の地 ～ ベーリング海峡 ～ allāh の地 ～ ゴルゴダ ～
シバの女王の故国 ～ バブ アル マンデブ海峡 ～ アファール猿人の母国

出離のため、ラスト　ヴォイイジとなる補陀落渡海をするつもりです。風と波まかせです。女神がどのように迎えてくれるのか、ワクワクです！

事務局より

この度、会報第 5 号を発送させていただくことになりました。これは皆様のご協力の賜物だと思っております。誠にありがとうございます。

さて、今年は新型コロナウィルスの影響により、様々な行事が中止となりました。ASU たちばな会も懇親会が中止、役員会もインターネット、郵送により実施することとなり、さらには 10 月の総会も中止となりました。明るい話題が少ない今年ですが、愛知産業大学工業高等学校硬式野球部が夏の甲子園中止による愛知県独自の夏季高等学校野球大会において準優勝いたしました。本学園各校学生・生徒の活躍は、学園広報誌コミュに掲載させていただいておりますので、是非ご一読いただきたく思います。

新型コロナウィルスが沈静化次第、また総会や懇親会などを開催したく考えております。その際はご案内させていただきますので、なるべく多くの先生方にご参加いただけますことを願っております。

令和元年度(2019 年)のまとめ　会員 59 名

6 月 15 日(土)　本部 7 階会議室にて、理事会を実施する。

ASU たちばな会報　第 4 号作成

10 月 26 日(土)　ELIC ビジネス＆公務員専門学校 6 階 601 教室において、理事会・総会を実施する。(参加者 13 名)

ELIC ビジネス＆公務員専門学校長　森先生より挨拶をいただく。

11 月 5 日に会報 4 号と学園情報誌「コミュ」等を発送する。

令和 2 年 3 月 11 日(水)　懇親会を中区伊勢山「一楽鮓」にて開催予定だったが、新型コロナウィルスの影響により中止する。

以　上

連絡先：法人事務局 業務課　増田　洋平
E-mail：ymasuda@asu.ac.jp
〒460-0016　名古屋市中区橘 2-6-15
TEL：052-339-2781　FAX：052-339-2782